

258) 今そばにいてもう遠い人

何年ぶりかで出会った人は しらがま 白髪混じりのおじさんだった  
いつも一緒に過ごしてた頃 ちょっと猫背が素敵だったの  
人の運命さだめはなぜ残酷な こんな出逢いを作るのでしょうか  
死にたいくらい愛した人は 今そばにいてもう遠い人

3年前に会社を辞めて 家を継いだと言ってたけれど  
家にかえればどんな奥さん どんな子供がいるのでしょうか  
しあわ 倖せそうじゃなかったことが わたしの心重くふさ塞いだ  
今の自分が倖せだから こんな気持ちになるのでしょうか

特徴のある歩き方から ゆっくりとしたしゃべ かた 喋り方まで  
昔も今も変わっていない ただ寂しげに見えたけれども  
後ろ姿を見送ったとき 涙あふれて心は揺れた  
7年前のふたりだったら 次の約束交わしたものを

ふたりの愛を解いたほどものが なんだったのか覚えていない  
それぞれの道歩き続けて 今この岸のたどり着いたの  
いくさいげつ 幾歳月の向こう岸には 置き去りにした愛が見えてる  
死にたいくらい愛した人は 今そばにいてもう遠い人